



上：2階 一般資料閲覧室（準備中）  
 中：中2階 北方資料室前  
 下：1階 えほんコーナー  
 （平成31年3月現在）

### 通常開館を再開します！

平成29年10月18日から、天井の全面的なアスベスト除去工事のため、臨時休館が続いていましたが、平成31年4月2日から通常開館を再開します！

休館中の工事や臨時受取窓口でのサービスの詳細は特集3でご紹介します。

## 目 次

- ▶ 特集1 「平成30年北海道胆振東部地震」における被害状況とその対応等について・・・1～3
- ▶ 特集2 北海道150年事業（その2）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4～8
- ▶ 特集3 道立図書館のアスベスト除去工事についての報告・・・・・・・・・・9～10
- ▶ 道内図書館紹介「釧路市中央図書館開館報告」・・・・・・・・・・・・11～12
- ▶ 活動報告
  - 平成30年度全道図書館専門研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13～15
  - 連続講座「がんを考える」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
- ▶ 連載・仕事紹介「道立図書館ではたらいています！～各課の1日～」・・・・17
- ▶ 平成30年度北海道立図書館協議会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
- ▶ 平成30年度全国優良読書グループ表彰・優良読書グループ北海道表彰・・・・19
- ▶ 平成30年度下半期事業一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20～21
- ▶ 平成31年度事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22

## 「平成30年北海道胆振東部地震」における 被害状況とその対応等について

9月6日に発生した「平成30年北海道胆振東部地震」は、道内図書館界にも大きな被害をもたらしました。翌週に予定していた北海道図書館大会は中止となりましたが、それぞれの図書館・図書室が、災害時でもできることに尽力しました。今号は、災害・防災に関連した内容を、取り上げます。

### 【 被害状況報告 】

9月11日から11月1日の間に当館で行った聞き取り調査や、被害の大きかった図書館（室）からの報告をもとに作成した『あけぼのつうしん No. 64』から抜粋します。（札幌市を除く）

#### 震度6弱以上だった図書館・図書室の被害状況

震度	市町村 (施設名)	被害状況(当時)	再開
震度7	厚真町 (青少年センター図書室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書架から本が多数落下したが、棚は倒れず、破損もなかった。</li> <li>・落下した本は書架に戻されているが、請求記号(分類)順にはなっていない。正しい配架は折を見て行う。</li> <li>・資料の大きな破損はない。</li> </ul>	10/1～
震度6強	安平町 (追分公民館図書室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書架から本が多数落下したが、棚の破損はない。</li> <li>・本は落下した棚近くの床に平積み。資料の大きな破損はない。</li> <li>・開架部分は「立入禁止」としているが、避難所にいる方の要望にできるだけ応えるよう平積みの本から提供している。</li> </ul>	10/16～
	安平町 (早來公民館図書室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・倒壊した書架がいくつかある。</li> <li>・本の多くは床に落下した。</li> <li>・地震時、図書室のドア(入口)も落下した本で開かない状況だった。</li> <li>・落下した本は床に平積み。</li> <li>・ゆがんだ書架と床の間に挟まって取り出せない本がある。</li> <li>・資料の大きな破損はない。</li> </ul>	10/16～
	むかわ町 (町立穂別図書館)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設は大きな被害なし。床・壁については町で調査中。</li> <li>・児童コーナーの低書架を除き、ほとんどの書架が倒壊、本が落下。</li> <li>・資料は落下するも破損は多くはない。</li> <li>・担当職員が避難所対応から本来業務優先に。(9/18～)</li> </ul>	未定 ※移動図書館で活動中
	むかわ町 (四季の館まなびランド図書室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設は大きな被害はない。</li> <li>・書架は一部倒壊。</li> <li>・資料はほぼすべて落下。</li> <li>・担当職員は本来業務を優先している。(地震直後から)</li> <li>・開架スペースの書架の多くが倒れたが、現在は戻されている。</li> <li>・本の多くは棚から落ちた。</li> <li>・現在は、上段の棚には本は置かず、ほとんどの本を床に平積みしている。</li> <li>・開架スペースの照明が一部破壊、天井材も一部剥離している。</li> </ul>	11/1～

震度	市町村 (施設名)	被害状況(当時)	再開
震度6弱	千歳市 (千歳市立図書館)	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設：損傷なし(停電により断水)。</li> <li>図書：数冊の図書と数枚のCDの落下程度。</li> </ul>	9/9～
	日高町 (日高図書館 郷土資料館)	<ul style="list-style-type: none"> <li>落下物：なし(本が倒れていくらい)。</li> <li>館内：閲覧室暖房(天井)のカバー(蓋)が外れかける(9/11修復済み)。</li> </ul>	9/7～
	日高町 (門別図書館 郷土資料館)	<ul style="list-style-type: none"> <li>蔵書約11万冊のうち、約2万5千冊程度が落下(開架・閉架・移動図書館内)。</li> <li>破損図書：10冊程度。</li> <li>書架が倒れたもの数本と、側板がはずれたものが2本。</li> </ul>	9/11～
	平取町 (平取町立図書館)	<ul style="list-style-type: none"> <li>開架の資料8～9割落下。</li> <li>書架自体は破損なし。</li> <li>キッズルームの照明に問題あり。</li> <li>エアコンのダクトが2か所破損。</li> <li>開架の天井部分に亀裂あり。点検の結果、構造上は落下しないとのこと。</li> </ul>	9/13～

(企画支援課)

### 【 安平町復旧支援 】

震源地近くの安平町の追分公民館図書室と早来公民館図書室へ、当館からも復旧支援に入りました。室内を片づけ、散乱した本を書架に戻し、古い本や傷んだ本を除籍するなどの作業を、多くのボランティアの方々とともに取り組みました。

ワゴン車で駆けつけた北海道ブックシェアリングの皆さんや別業務でその場にいた人たちなどとも力を合わせ、一日も早い復旧に向けて汗を流しました。被災して図書館に避難していた中学生たちも大人に混じって頑張っていたと聞いています。



地震などによる非常時は、決まりごとや指示命令等、平時のルールが通用しません。「何をして良いかわからないときに、どうしたら良いのか」そのようなことは学校や職場では習いません。皆、自分の考えと直感で、最善と思うことに力を尽くします。

図書室の入っている施設が住民の避難所となっており、また職員の皆さん自身も被災で大変な中で

図書室の復旧に自主的に多くの人が集まったという事実、安平町の方々が時間をかけて培ってきた、豊かな信頼関係を見る思いでした。

(資料課)



### 【 道議会図書室との連携企画展示「防災～いま私たちにできること～」 】

道議会図書室と当館は今年度から、政策に関するテーマで連携展示を行っています。

9月1日は「防災の日」。近年頻発している大型地震から、記憶に新しい西日本豪雨まで他人事ではない災害。これから起こる危機に備えるために、今から何を準備できるか、個人向けから自治体の災害対策向けまで幅広く資料を集め、6月、7月に引き続き、第3弾となる展示を行いました。

その最中に起きた胆振東部地震。道内各地で道路の損壊や停電、断水等の被害が出ました。

この展示には、被災者の不安や今必要なことを知る手がかりとなる資料、『被災ママ812人が作った 子連れ防災手帖』や『震災が起きた後で死なないために』等があり、直後から、被災者の生活再建や個々の事情に応じた適切な支援対策の参考として多くの利用者に読まれました。

道議会図書室では、少しでも多くの方に情報提供を行おうと、道庁内イントラネット

掲示板と当館のTwitter（ツイッター）により更なる広報を行い、所蔵資料による調査依頼も受けました。

また、当館仮設庁舎内臨時受取窓口のブックトラック上においてもミニ展示を行い、利用者の方々に直接本を手にとりご覧いただきました。当館HPに掲載している展示貸出資料リスト（市町村移動展）「図書館・図書室で防災力を高めよう！」もどうぞご覧ください。

(利用サービス課)



当館 Twitter のページ・右は展示資料リスト

## 北海道150年事業（その2）

前号に続き、当館が実施した「北海道150年事業」関連事業を中心にご紹介します。

### ■講演会 資料で語る北海道の歴史（第19回）

「昭和戦前期における北海道の字名改正について ー札幌を中心にー」

11月17日（土）午後2時から北海道立教育研究所で開催し、36名が参加しました。

北方資料室では、北方地域に関する資料を題材に北海道の歴史を学ぶ講演会を開催しており、第19回となる今回も北海道史研究協議会の協力により、副会長の関秀志（せき・ひでし）氏を講師に迎えて、札幌市やその周辺町村における字名（あざめい）の成り立ちや変遷、特色等についてご講演いただきました。

講演では、アイヌ語またはアイヌ語を起源とする地名や、移住・開拓に関する地名が多いという北海道や札幌の特色について触れたあと、北海道庁が昭和2（1927）年から昭和21（1946）年にかけて実施した「北海道第二期拓殖計画」をもとに「字界地番整理」事業として進められた字名の改正について、北海道庁拓殖部の文書や当時の地図を画像で示しながら解説いただきました。



大正期の地図をもとに、その後の町村合併と字名の関連について解説



熱心に耳を傾ける参加者の皆さん

参加者からは、字名の改称について「アイヌ語地名には失われたものもあるが、先人により歴史的由緒も考慮されていたことが理解できた」「札幌以外の地域の字名にも興味を持った」、「史料の画像を興味深く拝見した」といった感想が寄せられ、地名はその土地の履歴書であるとの認識を新たにしながら、地名という視点から北海道を考える機会となりました。

## ■連続講座「映像によみがえる北海道2018」（2回シリーズ）

好評だった昨年度に引き続き、「ふるさと動画DVD」を活用した講座を2回にわたって実施しました。

### 第1回「北海道の歴史ロマン チャシ」

11月24日（土）、江別市大麻公民館を会場に開催し、49名が参加しました。

北海道150年事業として本道の歴史や文化、アイヌの人たちの生活などを記録した映像をDVD化した「ふるさと動画DVD」115作品の中から『北海道のチャシ』（1976年制作）を上映するとともに、考古学が専門で、北方四島においてチャシ等の遺跡調査を継続的に行っている右代啓視（うしろ・ひろし）北海道博物館学芸主幹が、作品が制作された時代の研究の状況や、最新の研究成果などについて解説しました。



DVDの上映（『北海道のチャシ』）

チャシの研究は、遺跡の研究から文化圏の研究へと劇的に変化しつつあり、本講座においても、北海道と北海道を取り巻く文化圏の歴史と、さらに現在もダイナミックに進む歴史研究の最前線を楽しく学ぶことができました。

参加者からは、「チャシについて系統立てて理解することができた」、「チャシについての認識が変わった」などの感想が多数寄せられました。

### 第2回「なつかしの映像を見る・学ぶ・遺す～旧産炭地を中心に～」

2月17日（日）に北海道立教育研究所で開催し、53名が参加しました。

夕張地域史研究資料調査室長で、北海道史編さん委員会専門委員などとしても活躍されている青木隆夫（あおき・たかお）氏に、地域映像アーカイブの意義や課題についてお話をいただくとともに、ふるさと動画DVD『夕張市』（1965年制作）を上映しました。



「ふるさと動画DVD」について内容を紹介



DVDの上映（『夕張市』）

青木氏は、「ゆうばり国際ファンタスティック映画祭」の特別プログラム「ゆうばりアーカイブ」等を通じて10年以上にわたって地域の記録映像の発掘や市民との共有に取り組んできた経験から、映像資料には文章や写真では読み取れない当時の「一挙一動」の地域情報が含まれていること、活用の拡大に向けては、肖像権等の権利関係の処理が課題となっていることなどについて

て語りました。

参加者からは、「映像の歴史的資料としての価値を再認識した」、「石炭産業の盛衰が理解できた」などの感想が多数寄せられました。

#### ■「出張！ふるさと動画DVD」事業

「ふるさと動画DVD」は、平成30年の1年間で、市町村の図書館・図書室、高等学校、個人等に約500回貸出しを行い、図書館等での上映会をはじめ、同窓会や文化祭での上映、健康管理センター等における回想法の材料としてなど、幅広く活用していただきました。

このDVDを活用した「出張！ふるさと動画DVD」事業について、前号の〈その1〉、〈その2〉に引き続き、ご紹介します。

#### 〈出張！その3〉

10月27日（土）、帯広市図書館では、読書週間の事業として、「よみがえる、昔の帯広」を行い、51人の市民が参加しました。

昭和38年の帯広市の様子を記録したDVD『おびひろ』（1963年制作）を当館職員の解説を交えて上映した後、帯広市図書館の職員による回想法を用いた交流の時間がもたれました。帯広市図書館が所蔵している資料から市民会館の図書館などDVD



帯広市図書館職員による回想法を用いた交流の様子

Dに登場した建物の写真が職員の解説とともにスクリーンに映しだされ、参加者が当時の記憶や思い出を語りました。参加者からは「市民会館で昔カラオケを歌ったことがある」などの当時の思い

出や「会場の方々の思い出話から、知らないエピソードをきくことができた」などの感想が寄せられました。また、会場内には、事業に関連した懐かしい写真集などが展示され、上映会が終わったあとには本を手にとったり借りたりしている姿がみられました。

#### 〈出張！その4〉

11月22日（水）、中富良野町教育委員会が行っている高齢者大学「中富良野町銀嶺大学」に訪問して、昭和38年の中富良野町と富良野町の様子を記録したDVD『富良野町』（1966年制作）、『中富良野町』（1965年制作）を上映しました。会場内では、当館所蔵資料から中富良野町に関する資料や地図を持って行き展示をしたり、昭和38年頃のニュースや流行したものを当館職員がスライドで紹介したりして、当時の記憶を思い起こしてもらいました。



会場に展示した中富良野町の資料を見ている様子  
(中富良野町ふれあいセンターなかまーる)

中富良野町は農業の町ということもあり、映像には農作業の様子が多く収められています。参加者には、地元で生まれ、農業に携わる人が多く、懐かしそうに隣同士で会話をしながら映像を観ていました。

参加者からは、「自分自身の若いころの様子が映っていた」、「弟や友人が多数映っていて懐かしかった」、「たくさんの思い出がよみがえった」などの感想が寄せられました。また、上映終了後は、当時の農作業の様子を参加者同士で教えあう場面もみられました。

#### 〈出張！その5〉

11月3日（土）・4日（日）、江別市大麻西地区センターで行われた第47回大麻西地域市民文化祭において、昭和39年に大麻団地造成の様子を記録したDVD『新しい街 大麻』（1969年制作）が上映されました。

この取り組みは、7月に、当館の地元である大麻地区自治連合会連絡協議会の役員会において、DVDの活用について説明したことが発端となって実現したもので、当初は数回上映する予定が、視聴者が絶えなかったため、2日間エンドレスで上映されることになりました。

「長く住んでいるが、大麻地区全体の歴史が初めてわかった」などと好評だったことを踏まえ、主催した大麻第三住区自治連合会では「まだ見ていない住民も多いので、来年以降もぜひ上映できれば」と考えているということです。

## ■資料展示「子どもたちの北海道～大正・昭和を中心に～」

11月1日（木）から30日（金）まで、道立生涯学習推進センター「情報交流広場（まなびの広場）」（札幌市中央区「かでの2・7」）において、北方資料室が所蔵する資料の中から北海道の子どもたちの「学び」、「遊び」、「生活」をキーワードに資料展示を開催しました。

大正・昭和時代の子どもたちが夢中になった遊びを記録した資料、絵本、雑誌、北海道独自のルールで遊ぶ下の句かるた、昭和初期に使用された「北海道小学読本」をはじめとした教材、学校行事を記録した絵はがきなど、当館の所蔵する資料を通して、時代が違って変わらない子どもたちの世界や北海道独自の歴史・文化などを中心に紹介しました。



懐かしい漫画雑誌

また、当館では、図書や雑誌以外にも資料としており、パンフレットやカセットテープなども収集しています。その中から、菓子店のパンフレットや北海道の夏の風物詩「子ども盆おどり」のカセットテープなどを展示しました。



昭和初期の北海道小学読本

通常は当館内で実施している資料展示ですが、札幌市中心部の大きな会場で展示ができたことにより、当館に足を運ぶ機会がなかった方にも特別コレクション等を知っていただく貴重な機会となりました。

（北方資料課）

## 道立図書館のアスベスト除去工事についての報告

### 【 アスベスト除去工事等スケジュール 】

平成30年

- |       |                    |
|-------|--------------------|
| 3月    | アスベスト除去工事 実施<br>設計 |
| 6月18日 | アスベスト除去工事 入札       |
| 6月26日 | 図書館仮設庁舎 工事着工       |
| 8月31日 | 図書館仮設庁舎 工事完成       |
| 9月10日 | 本館から図書館仮設庁舎へ移転     |
| 9月12日 | 仮設庁舎臨時受取窓口開設       |
| 9月15日 | アスベスト除去工事着手        |



仮設庁舎建設仮囲い (H30. 7. 14)



仮設庁舎建設 (H30. 7. 25)

平成31年

- |       |                                   |
|-------|-----------------------------------|
| 2月15日 | アスベスト除去工事完了                       |
| 2月18日 | 図書館仮設庁舎から本館へ移転、<br>書架再設置、書籍の書架再配置 |
| 2月21日 | 北方資料室臨時カウンター開設                    |
| 3月 1日 | 図書館仮設庁舎解体、撤去                      |
| 4月 2日 | 図書館通常開館 (予定)                      |

(管理課)



仮設庁舎完成 (H30. 8. 31)

### 【 仮設庁舎でのサービスについて 】

9月12日に仮設庁舎内に移転した臨時受取窓口では、インターネット予約貸出しによる本の貸出しに加え、事前予約による閲覧サービス（複写を含む）を再開しました。臨時受取窓口で行ったサービスは次のとおりです。

- ・「インターネット予約貸出サービス」等で予約していただいた本の貸出し、返却、貸出延長
- ・備え付け用紙に記入しての予約
- ・本のリクエストの受付
- ・所蔵調査等（本のあるなしの確認等）

- ・利用登録の受付
- ・利用者用検索機による蔵書検索、予約申込み
- ・事前予約制による本の閲覧
- ・事前予約制によるマイクロフィルムの閲覧
- ・事前予約制によるインターネット、DVD等の閲覧
- ・コピーサービス



臨時受取窓口カウンター

事前予約は、電話または仮設庁舎（臨時受取窓口）で閲覧したい資料（本や雑誌等）と閲覧席の予約をしてもらうこととし、次のとおり制限を設け、受け付けました。

- 予約の受付期間：閲覧利用日の2週間前から前日12：00まで
- 予約できる回数：1週間（火～日）に予約できる上限は3回まで
- 閲覧サービスを利用できる時間：閲覧席の利用は連続して最大2時間まで（当日空席があれば延長可）  
(利用サービス課)



臨時受取窓口閲覧席

### 【 工事完了後のサービスについて 】

仮設庁舎から本館へ移転後は、北方資料室を臨時受取窓口とし、仮設庁舎で行ったサービスを基本に、予約閲覧席を4席から6席に増やすとともに、エントランスホールから北方資料室に至る経路にある、児童書や図書館学資料、北方資料についても借りていただけるようにしました。

また、北方資料室の前に大型液晶モニターを設置し、「ふるさと動画DVD」の常時上映も開始しました。

これらの取組は、通常開館直前の3月31日まで継続する予定です。

(北方資料室)



臨時受取窓口（北方資料室）



「ふるさと動画DVD」の上映

## 釧路市中央図書館開館報告

釧路市中央図書館 館長 富澤 泰

平成30年2月3日に新築移転した釧路市中央図書館について、館の概要と開館後の状況について報告させていただきます。

### 釧路市中央図書館

所在地 釧路市北大通10丁目2-1

JR釧路駅から400m、10階建て北海道銀行ビルの3階～7階フロアを利用。

延べ床面積 5,289.48㎡(旧図書館3,028㎡)

蔵書数 約45万冊(旧図書館30万冊)



### 民間ビル内への図書館設置の経過

- ① 中心市街地の活性化に貢献できる。
- ② 新図書館として想定していた規模の整備が可能である。
- ③ 釧路駅から近いこと、ほとんどの路線バスが通るバス停があるなどの公共交通機関の利便性が高いなど、現地での整備が有利であると判断しました。

### 新図書館の特徴

- ① 豊富な閲覧席でゆったりと読書、学習ができる滞在型図書館。
- ② 7階フロアに飲食自由なラウンジを設置。
- ③ ICタグの導入による、BDS、自動貸出機、自動返却機、予約取り置き室を設置し、利用者の利便性と業務の省力化を図りました。
- ④ 豊富な民間データベースを利用できるPCコーナー(パソコン8台設置)
- ⑤ 対面朗読室の設置と朗読ボランティアの活動。拡大読書器や自動読み上げ機器もあり、幅広く対応。
- ⑥ 釧路文学館の併設 釧路ゆかりの作家の紹介や市内文学団体の活動を紹介しています。釧路市の官庁街、ビジネス街にあることから、仕事に役立つ図書館をめざして、ビジネスコーナーを設置しています。また、「認知症にやさしい本棚」や「手話の本棚」には本の資料以外に関係施設が発行するパンフレットを設置するなど、福祉関係課と連携した取組も行っています。

### 開館後の利用状況について

幣舞町にあった旧図書館を平成29年9月30日で閉館し、蔵書の箱詰め、備品の梱包等移転作業を行いました。蔵書は段ボール箱にして13,000箱を越え、引越作業は業者が行いました

が、箱詰めと箱出し、排架は職員の作業であり、図書館システムの更新も重なって4か月の期間ではとてもタイトな日程でした。

オープン日の2月3日は、開館時間前に開館記念式典を終わらせ、通常の開館時間9時30分にテープカットとともに開館しました。この日は4,300人を超す市民の方々にお越しいただき、市民の関心の高さを感じました。一昨年開館していた9月までの統計で比較すると、入館者数は約132,500人で一昨年の2.2倍、貸出冊数は約235,000冊で1.3倍になっています。特に個人学習室は新館になって個人ブースになったことにより利用者も増え、約51,000人で10倍となっています。路線バスなど交通の便が良くなったことにより、公共交通機関を利用する中高校生と高齢者が増えました。

### 学校図書館との連携と支援

平成30年度新たに学校図書館連携支援員を2名採用し、小中学校の読書活動を支援する活動を行っています。

「学校ブックフェスティバル」は小学校の屋内体育館を利用して、学校の児童数に応じて1,000冊から2,000冊の児童書、絵本を床に並べて自由に読んで借りていけるイベントです。学



釧路市立昭和小学校でのブックフェスティバルの様子

校の土曜登校日に実施した学校が多く、保護者も一緒に選書する楽しい催しとなりました。本の運搬や本を並べる作業など学校の図書ボランティアや学校支援ボランティアの協力もいただき、市内10校で実施することができました。

「読書活動サポートセット」は現在採用の国語の教科書に沿った図書（1セット6学年分600冊）を3セット用意し、1セット単位で1学期間各学校に貸し出しました。授業に関連のある図書だけに児童の関心も高く、学校からも高評価でした。来年度以降、国語科以外の資料も揃え、学校に提供していこうと考えています。

また、新館オープンから小中学校や市民サークル等、数多くの見学と他都市からの視察の申込みがありました。小中学校にとっては社会科見学として最も適した施設ですし、市民サークルにとっても一番関心のある施設だと思います。関心のある住民にとって一番のPRとなることから、できる限り断らずに対応し、1月までに83件1,970名の見学を受け入れています。

今年の2月に開館1年となりましたが、滞在型図書館として概ね順調なスタートが切れたと思います。これからは中心市街地の活性化を図るとともに、市民が気軽に集える学習の場として利用が定着していけるよう、事業展開を図っていきたくと考えています。

## 平成30年度全道図書館専門研修

全道図書館専門研修は、図書館運営に関して特定のテーマについてスキルアップを目指すもので、今年度は、「経営／企画・広報」（10／19）、「サービス／レファレンス」（11／28）、「子ども読書／学校支援」（12／13～14）、「経営／関係法規」（1／17）のテーマで実施しました。うち2回は、札幌近郊の開催では参加が難しい職員の方々にも参加していただけるよう、旭川市（上川管内）、乙部町（檜山管内）で開催しています。

今回は、10月に実施した「経営／企画・広報」がテーマの研修と12月に実施した「子ども読書／学校支援」がテーマの研修について報告します。

### 【 経営／企画・広報 】

この研修会は、図書館サービスを充実させ、利用を拡大していくための企画と広報について学ぶため、「利用者の心を引き付ける企画・広報のコツをつかめ！」をテーマに行いました。

講義では、全国で図書館コンサルタントとして活躍し、また海外での図書館活動経験を持つ講師を迎え、住民との情報・知識の共有や、対話による意思決定など、相手との相互性が公共の広報には重要であることなどを学びました。参加者からは、「今までの広報に対する考え方が変わりとても勉強になった」などの声がありました。

事例発表は、多くの企画にチャレンジしている2つの図書館の事例を伺いました。試行錯誤をしながらの企画づくりや、具体的に苦労した点などを聞き、大変参考になったと好評でした。

グループワークでは、6つのグループに分かれて、持ち寄ったイベント企画やチラシを基に各自の事例の紹介や改善点を話し合い、参考になった点などを発表し、情報を共有しました。なお、後日、事例発表をさせていただいた北見市からイベントについてまとめた資料の提供があり、当館ホームページの図書館ポータルで公開しました。



事例発表②「図書館コミュニティカフェの試み」

■ 期 日：10月19日（金）

■ 会 場：旭川市中央図書館

■ 参加人数：32名

■ 内 容

講義「図書館と公共コミュニケーション」

アカデミック・リソース・ガイド株式会社 取締役&リレーションズ・ストラテジスト

鎌倉 幸子 氏

事例発表①「図書館イベント100連発！新規利用者開拓の試み」

北見市立中央図書館奉仕係長 川畑 恵美 氏

事例発表②「図書館コミュニティカフェの試み」

滝上町図書館図書館奉仕係長 辻 めぐみ 氏

グループワーク「自館のイベント、広報を見直してみよう！」

コーディネーター 道立図書館総務企画部企画支援課長 桑原 裕子

■ 事後アンケートから

- ・図書館はもっといろいろなことに挑戦して良いのだという後押しを貰った気分。まずは、伝えることから始めたい。
- ・できそうなイベントが目白押しで、もっと聞きたかった。
- ・情報交換の時間がもっと欲しかった。

【 子ども読書／学校支援 】

この研修会は、学校図書館について理解を深め、公立図書館（公民館図書室等）から学校図書館への支援のスキルの習得を図るため、「学校支援の実践のために～ノウハウとテクニック～」をテーマに行いました。



講義「図書館のイメージアップ戦略から利用支援まで  
～北海道武蔵女子短期大学の実践～」

「学校図書館ガイドライン」が示されるなど、学校図書館の充実が求められている今、多彩な講師が様々な視点から、学校図書館支援のためのノウハウを、実践に役立つ事例を数多く交えながら紹介されました。

また、報告・情報交換ではそれぞれの図書館の事例や悩みなどを出し合い、演習では自館での実践をイメージしながら体験するなど、座学では得られないものを得ていた様子でした。

質疑も活発に行われ、また、次回以降の専門研修テーマの希望アンケートでは、「学校支援について、コンスタントに取り上げてほしい」などの要望が複数あり、関心の高さがうかがえました。

■ 期 日：12月13日（木）～14日（金）

■ 会 場：北海道立教育研究所

■ 参加人数：55名

## ■ 内 容

報告・情報交換「いま、公立図書館に求められる学校支援について」

北海道図書館振興協議会調査研究チーム

講義「図書館のイメージアップ戦略から利用支援まで～北海道武蔵女子短期大学の実践～」

北海道武蔵女子短期大学附属図書館 徳田 祐子 氏

演習「かがく絵本と自然体験活動」

砂川市図書館管理係長 工藤 雅子 氏

道立図書館総務企画部企画支援課企画主幹 中田 こずえ

講義「学校の仕組みと学校図書館の位置付け ～公立図書館からのアプローチのしかたのヒント～」

全国学校図書館協議会スーパーバイザー 齋藤 昇一 氏

講義「国際子ども図書館の中高校生向けサービス」

国立国会図書館国際子ども図書館児童サービス課 小熊 有希 氏

講義「北海道子どもの読書活動推進計画（第四次計画）の目指すもの」

北海道教育庁生涯学習課主査 西島 進一

## ■ 事後アンケートから

・まさに今、知りたいことが知ることができた。

内容も充実していて、大変勉強になった。

・学校図書館の実情や「なまの声」を聞くことができて大変ありがたかった。他の図書館の様子もわかり、自館で活かせる内容が盛り沢山だった。

・様々な地域、立場の違う方と問題を共有することができた。

・他館の実践を詳しく聞いてとても助かった。手の込んだことではなく、簡単に、身近にできることだったので、余計に良かった。



演習「かがく絵本と自然体験活動」

(企画支援課)

## 連続講座「がんを考える」



平成30年10月28日、11月11日の2日間、昨年度に引き続き、北海道がんセンターと連携し、がんに関する全2回の講座を実施しました。

講演の講師には、北海道がんセンター臨床研究部長の高橋康雄先生と呼吸器センター長の原田眞雄先生にお越しいただきました。高橋先生には大腸がん

についての内容のほか、検診を受けることの重要性、がんの予防のための注意点をお話しいただき、原田先生には肺がんのしくみや治療方法、喫煙との関係、検査方法による発見の違い等をお話しいただきました。両日とも活発な質疑応答が行われました。

その後、当館職員による講義を行いました。第1回は図書館で調べるときの検索のコツや「事典」と「辞典」の違い、背ラベル等の話について、第2回は日本十進分類法の仕組みやがん情報に関する分類内容、インターネットでの検索の簡単なコツについて講義しました。アンケート内容は「専門性の高い内容だった」「最新の情報を知ることができた」「スライドがわかりやすかった」など、いずれも大変好評でした。

## ■ 内 容

### 【第1回】

期日：10月28日（日） 会場：江別市大麻公民館 参加人数：14名

講演「知っておきたい大腸がん」 北海道がんセンター臨床研究部長 高橋 康雄 氏

講義「本の探し方 ～がん関係を例にして～」

道立図書館利用サービス部利用サービス課企画主幹 工藤 嘉一

### 【第2回】

期日：11月11日（日） 会場：江別市野幌公民館 参加人数：13名

講演「ノーベル賞の薬に頼ってはいけない肺がん」

北海道がんセンター呼吸器センター長 原田 眞雄 氏

講義「本の分類とインターネット情報の特性 ～がんを中心として～」

道立図書館利用サービス部利用サービス課企画主幹 工藤 嘉一

(利用サービス課)



## 道立図書館ではたらいています！～各課の1日～

### 管理課のある一日

#### スタート

8:45 始業 開館準備  
利用者用玄関の鍵を開けます。  
また、館内の点検を行います。



管理課は図書館の建物やその敷地内及び図書館で働いている職員の健康管理を行うなど、図書館全体の管理運営を行っています。

そんな管理課の一日をのぞいてみましょう。



9:00 開館  
利用者の方をお出迎え。  
閲覧室等の階段を開放します。

10:00  
メールチェック  
メールをみて、各課へ  
メールを振り分けます。  
とその途中・・・

落とし物  
ありませんか!?

館内、敷地内を探し、  
見つけたら利用者の方  
へ連絡をします。

13:00 物品購入  
選択会議で精査された図書を  
購入するため書類を作成しま  
す。作成中・・・

大変!! 暴風だ!!

庭の木が倒れて、危険な状態  
になっていないか外に見回りに  
いきます。今日は異常あり  
ませんでした。



12:00  
お昼ご飯  
この間もお問い合わせ  
の電話を受理します。

入  
札  
箱

11:00 入札  
図書館の清掃等管理運  
営のために必要な委託  
業務の入札を規則に従  
って行います。



15:00 入札の準備  
入札を行うためには、業者へ  
の公告、資格審査、入札当日  
という流れがあります。書類  
の作成を行う等、準備を行  
います。



17:00 閉館 閉館準備  
利用者の方が帰られたら、  
玄関に鍵をかけます。  
館内の見回り等を行います。

#### ゴール

17:30 終業  
トラブルもありましたが、  
今日のお仕事は終了です。

## 平成30年度北海道立図書館協議会

今年度の協議会は、次のとおり開催しました。

- ・第1回 平成30年7月26日(木) 大麻公民館 研修室1号 出席委員 8名
  - 議題1 平成29年度業務実績報告について
  - 議題2 北海道立図書館事業推進計画(平成25年度～29年度)における進捗状況及び成果と課題について
  - 議題3 新しい北海道立図書館事業推進計画(イメージ案)について
  - その他
- ・第2回 平成30年12月6日(木) 大麻公民館 研修室2号 出席委員 10名
  - 議題1 平成30年度事業の実施状況について
  - 議題2 新しい北海道立図書館事業推進計画(素案)について
  - その他
- ・第3回 平成31年 3月20日(水) 北海道立図書館 研修室 出席委員 8名
  - 報告1 「北海道立図書館事業推進計画(平成31年度～34年度)」について
  - 報告2 「北海道立図書館資料収集計画について」
  - 議題1 「平成31年度北海道立図書館運営計画」(案)について
  - その他

■ 今年度は図書館協議会委員の改選期で、平成30年11月から2年間の任期として、各関係団体等の推薦及び公募により10名の委員が就任しました。

今回の改選により、3名の委員が新しく就任し、また女性の委員は4名となりました。

■ 協議会に関する情報をホームページに掲載していますので、是非、ご覧ください。

ホームページアドレス：<http://www.library.pref.hokkaido.jp/>

トップページ>道立図書館について>道立図書館協議会

(管理課)

平成30年度  
全国優良読書グループ表彰・優良読書グループ北海道表彰

北海道読書推進運動協議会

(公社)読書推進運動協議会では、「読書週間」事業のひとつとして、全国優良読書グループ表彰を実施しています。北海道読書推進運動協議会においては、全国表彰への推薦と併せて独自に北海道表彰を行っており、昨年度新設した北海道表彰奨励賞も加えて、次の皆様が受賞されました。

**全国表彰（1団体）**

- 読み聞かせサークル「E本よもう！どらねこ倶楽部」

池田町 平成13年設立

**北海道表彰 本賞（5団体）**

- 仁木町読書サークル兔の眼 仁木町 昭和57年設立
- にじのはし 苫小牧市 平成15年設立
- 童話サークルひいたあ★ぱん 八雲町 昭和50年設立
- 読み聞かせグループ「子ども達に自作の紙芝居を見てもらう会」 北見市 平成元年設立
- サンタのぼけっと 広尾町 平成15年設立

**北海道表彰 奨励賞（1団体）**

- みーとほん 江別市 平成29年設立

※ 自主的・積極的な活動を行い、今後の活発な活動が期待される活動歴が5年未満の優良読書グループを表彰する「北海道表彰 奨励賞」を平成29年度から新設しました。

**受賞グループの詳細について**

北海道読書推進運動協議会が発行している『北読進協だより』第33号に、受賞グループの寄稿文が掲載されています。

『北読進協だより』は北海道立図書館ホームページからご覧いただけます。

北海道立図書館ホームページトップ>関係団体等>北海道読書推進運動協議会

<http://www.library.pref.hokkaido.jp/web/relation/qlnh00000000eww.html>

(企画支援課)



2018・第72回読書週間ポスター  
(公益社団法人読書推進運動協議会)

## 平成30年度下半期事業一覧

	事業名	開催日	開催場所	概要	参加人数	備考
1	北海道立図書館・北海道議会図書室連携企画展示事業	①平成30年7月2日～8月31日 ②平成30年9月3日～10月31日 ③平成30年12月3日～平成31年1月31日	札幌市 (北海道議会図書室)	道政にかかわるテーマで、当館と道議会図書室の資料を併せて展示 ①北海道みんなの日「写真で見る道議会の歩み」 ②「防災～いま私たちにできること～」 ③「交通～ライフラインとして、地域づくりの一端として～」	—	
2	出張！ふるさと動画DVD事業	平成30年9月17日	小樽市 (市立小樽図書館)	市立小樽図書館で行われた「北海道立図書館所蔵の貴重な資料と映像でみる北海道150年 第2弾 北海道、そして北千島」において、ふるさと動画DVDの上映、ならびに映像の解説を実施。	17名	
3	北海道立図書館・北海道立近代美術館連携事業	①平成30年9月29日～11月14日 ②平成30年12月8日～平成31年1月27日 ③平成31年2月5日～3月21日	札幌市 (北海道立近代美術館)	相互の利用者サービスの向上を図るため、道立近代美術館で開催する展覧会に連動し、特設コーナーを設けて道立図書館の蔵書を紹介 ①「極と巧 京のかがやき～北海道立図書館の蔵書から」 ②-1「絹谷幸二～北海道立図書館の蔵書から」 ②-2「Winter Greetings～北海道立図書館の本から」 ③「深井克美展～北海道立図書館の蔵書から」	—	
4	「発見・体験 文化の秋～遊ぼう！学ぼう！あつべつ・えべつ」	平成30年10月7日	札幌市 (サンピアザ光の広場)	かるちやるnet主催イベント。(大型絵本、しかけ絵本、木育の本展示、クイズラリー、ワークショップ等の体験型イベント)	—	かるちやるnet (文化施設連絡協議会) <a href="http://www.hm.pref.hokkaido.lg.jp/cultuar-net/">http://www.hm.pref.hokkaido.lg.jp/cultuar-net/</a>
5	全道図書館専門研修(経営・企画広報)	平成30年10月19日	旭川市 (旭川市中央図書館)	道内公共図書館(図書室)職員、市町村教育委員会職員、学校図書館関係職員等向け研修	32名	テーマ:「利用者の心を引き付ける企画・広報のコツをつかめ！」
6	出張！ふるさと動画DVD事業	平成30年10月27日	帯広市 (帯広市図書館)	帯広市図書館で行われた「第72回読書週間 よみがえる、昔の帯広」において、ふるさと動画DVD「おびひろ」の上映、ならびに映像の解説を実施。	51名	
7	「連続講座 がんを考える」第1回 「知っておきたい大腸がん」	平成30年10月28日	江別市 (江別市大麻公民館)	北海道がんセンター高橋康雄先生による大腸がんの講演と、当館職員によるがんを中心とした本の探し方の紹介で、がんについて知識を深める。	14名	
8	「北海道150年」事業 資料展示 「子どもたちの北海道 ～大正・昭和を中心に～」	平成30年11月1日～11月30日	札幌市 (かでる2・7)	本道の子どもの学び、遊び、生活をキーワードに、絵本や雑誌など道立図書館所蔵資料から子どもの世界に触れるとともに、本道の歴史や文化への理解をはかる展示を実施。	—	
9	出張！ふるさと動画DVD事業	平成30年11月3日～11月4日	江別市 (大麻西地区センター)	大麻西地区センターで行われた「第47回(平成30年度)大麻西地域市民文化祭」において、ふるさと動画DVD「新しい街 大麻」を上映。	—	

	事業名	開催日	開催場所	概要	参加人数	備考
10	「連続講座 がんを考える」第2回 「ノーベル賞の薬に頼ってはいけない肺がん」	平成30年11月11日	江別市 (江別市野幌公民館)	北海道がんセンター原田眞雄先生による肺がんの講演と、がん情報を中心とした本の分類紹介やインターネット情報の検索の紹介で、がんについて知識を深める。	13名	
11	「北海道150年」事業 講演会・資料で語る北海道の歴史(第19回) 「昭和・戦前期における北海道の字名改正について -札幌を中心に-」	平成30年11月17日	江別市 (北海道立教育研究所)	北海道史に詳しい専門家を講師に招き、地域の字名(あざめい)の変化から北海道150年の歴史を振り返る講演会を開催。	36名	
12	平成30年度北海道図書館振興協議会第2回理事会・全道図書館長会議	平成30年11月21日	札幌市 (札幌市中央図書館)	北海道図書館振興協議会理事会、館長会議及び講話	60名	講話:「図書館のカラーユニバーサルデザイン」 講師:本間純子氏 (有)アリエルプラン・インテリア設計室 代表取締役/北海道カラーユニバーサルデザイン機構理事)
13	出張!ふるさと動画DVD事業	平成30年11月22日	中富良野町 (ふれあいセンター なかまーる)	中富良野町ふれあいセンターなかまーるで行われた「中富良野町銀嶺大学」において、ふるさと動画DVD「富良野町」「中富良野町」を上映。	45名	
14	「北海道150年」事業 連続講座 「映像によみがえる北海道2018 第1回 北海道と歴史ロマン ～チャン～」	平成30年11月24日	江別市 (江別市大麻公民館)	「ふるさと映像資料等活用促進事業」で作成したデジタル映像を使用し、チャンに関する講座を実施。	49名	
15	全道図書館専門研修(サービス/レファレンス)	平成30年11月28日	乙部町 (乙部町民会館)	道内公立図書館(図書室)職員、市町村教育委員会職員、学校図書館関係職員向け研修	14名	テーマ:「明日からできる!レファレンスサービス」
16	全道図書館専門研修(子ども読書/学校支援)	平成30年12月13日～14日	江別市 (北海道立教育研究所)	道内公立図書館(図書室)職員、市町村教育委員会職員、学校図書館関係職員向け研修	55名	テーマ:「学校支援の実践のために～ノウハウとテクニック～」
17	教職員のための図書館活用講座(入門編)	平成31年1月16日	江別市 (北海道立教育研究所)	図書館の活動に関心のある教職員、学校図書館関係者(ボランティアを含む)向け講座	5名	
18	全道図書館専門研修(経営/関係法規)	平成31年1月17日	江別市 (北海道立教育研究所)	道内公立図書館(図書室)職員、市町村教育委員会職員、学校図書館関係職員向け研修	34名	テーマ:「すべての人にやさしい図書館を目指して～改正著作権法と北海道意思疎通支援条例・手話言語条例の施行を受けて～」
19	連続講座「映像によみがえる北海道 第2回 なつかしの映像を見る・学ぶ・遺す ～旧産炭地の映像を中心に～」	平成31年2月17日	江別市 (北海道立教育研究所)	「ふるさと映像資料等活用促進事業」で作成したデジタル映像「ふるさと動画DVD」の中から夕張市の映像を上映するとともに、地域映像アーカイブの意義や課題について学ぶ講座を開催。	53名	
20	利用講座 レコードコンサート 「音でよみがえる北海道の歴史」	平成31年3月7日	江別市 (北海道立教育研究所)	当館が所蔵するレコードなどの視聴覚資料の視聴を通して、昭和の北海道の歴史や文化を再認識するとともに、当館所蔵資料への興味・関心を高め、利用を促す講座を開催。	28名	

## 平成31年度 事業計画

月	上 旬	中 旬	下 旬
4	特別展示「世界の蔵書票」(4/2～5/6) 休館中の記録写真展(4/2～5/6)	北図振 第1回理事会・総会(18日 札幌市)	書庫ツアー(北方)(20日) 子ども読書の日(23日) こどもの読書週間(4/23～5/12) 図書館記念日(30日) 大型えほん展示(下旬～5月上旬)
5	図書館振興の月	北学図 定期総会(11日 札幌市)	全公図 第1回理事会(24日 東京都)
6	書庫ツアー(北方)(8日)	北図振 全道図書館新任職員研修会(13～14日 当館) 北読進協 総会(札幌市) 日図協 公共図書館部会総会、代議員総会(14日 東京都)	第1回北海道図書館連絡会議 北日図連 第1回理事会・総会(27日 青森市) 北日図連 北日本図書館大会(27～28日 青森市) 全公図 定期総会(28日 東京都)
7	図書館総合展(6日 札幌市) 北図振 全道図書館中堅職員研修会(11～12日 当館) 北図振 管内図書館振興協議会等地方研究集会(7～2月 各管内で開催)	第1回北海道立図書館協議会	
8	書庫ツアー(子ども向け)(9日)		
9	北図振 北海道図書館大会(4～5日 札幌市)		道立図書館まつり(23日)
10	北学図 北海道学校図書館研究大会(4～5日 旭川市) 北図振 全道図書館専門研修(経営/企画・広報)※ <sup>1</sup> (9～10日 札幌市)		読書週間(10/27～11/9) 文字・活字文化の日(27日)
11	北読進協 優良読書グループ表彰 北図振 第2回理事会全道図書館長会議(8日 札幌市) 道民カレッジ連携講座(北方) 書庫ツアー	第2回北海道立図書館協議会 図書館総合展(12日～14日 横浜市) 北日図連 北日本図書館地区別研修会(13～15日 福島市) 北図振 全道図書館専門研修(経営/関係法規)(20日 帯広市)	日図協 全国図書館大会(21～22日 津市) 第2回北海道図書館連絡会議 日図協 全国公共図書館研究集会(児童・青少年部門)(28～29日 松江市)
12	北学図 青少年読書感想文全道コンクール及び北海道指定図書読書感想文コンクール表彰式(1日 札幌市)	北図振 全道図書館専門研修(サービス/地域資料)(13日 新ひだか町 図書館) 日図協 全国公共図書館研究集会(サービス部門 総合・経営部門)(12～13日 千葉市)	
1	北学図 北海道学校図書館研修講座(7～8日 札幌市)	北図振 全道図書館専門研修(子ども読書/地域支援)(17日 当館)	
2	道民カレッジ連携講座(北方)		北日図連 第2回理事会
3		第3回北海道立図書館協議会	

※<sup>1</sup> は北日図連研究協議会を兼ねます。

※ 上記の日程は変更になる場合があります。

<凡例>

- ・北図振・・・北海道図書館振興協議会
- ・北日図連・・・北日本図書館連盟
- ・北読進協・・・北海道読書推進運動協議会
- ・北学図・・・北海道学校図書館協会
- ・日図協・・・日本図書館協会
- ・全公図・・・全国公共図書館協議会

道立図書館は



平成31年 4月2日(火) から

通常開館します

オープニングイベント開催

**貴重資料特別展示 『世界の蔵書票』**

期日：4月2日(火)～5月6日(月・振休)

場所：1階研修室

国内外の「蔵書票」を、関係資料とともに展示します。  
「蔵書票」とは、本の見返しに自分の蔵書を証する目印として貼る1枚のカードで、芸術品としても評価が高く、「紙の宝石」とも呼ばれています。



**北方資料室書庫ツアー 『鉄道資料でみる北海道の歴史』**

日時：4月20日(土)14:00～16:00 先着 20名

北の大地の開拓を支え、昨年北海道遺産にもなった簡易軌道など、鉄道資料から北海道の歴史を振り返ります。

3月20日(水)から参加申込みを受け付けます。

(北方資料課 電話：011-386-8523 メール：hoppokouza@library.pref.hokkaido.jp)



**『休館中の記録写真展』**

期日：4月2日(火)～5月6日(月・振休)

場所：階段(壁面)

休館中の工事や館内の様子を、パネル写真でふりかえります。



**『クリアファイルプレゼント』**

日時：4月2日(火)9:00～ 配布 先着 100名様

場所：1階エントランスホール

**『作って もらおう！缶バッジ』**

日時：4月7日(日)10:00スタート 終了 16:00

場所：1階研修室

描いた絵や持ってきた写真などを、缶バッジにできるよ！  
(※10分くらいで完成します！)



**北海道立図書館**

江別市文京台東町41番地

開館時間：午前9時から午後5時まで

休館日：月曜日(休日の場合、その直後の平日)

毎月月末(休日、月曜日、土曜日及び日曜日の場合、その直後の平日)

毎年年始(12月29日～翌年1月3日)

TEL:011-386-8521 FAX:011-386-6906

ホームページ：<http://www.library.pref.hokkaido.jp/>

平成31年4月2日からの通常開館にあたり実施する  
オープニングイベントのチラシ

北海道立図書館報 第206号

平成31年3月28日 発行

北海道立図書館長 武田 信吾

〒069-0834 江別市文京台東町41番地

TEL：011-386-8521 (代 表)

ダイヤルイン

386-8531 (総務企画部)

386-8522 (利用サービス部)

386-8523 (北方資料室)

FAX:011-386-6906

E-mail: [support@library.pref.hokkaido.jp](mailto:support@library.pref.hokkaido.jp)

ホームページ：<http://www.library.pref.hokkaido.jp>